



大阪科学・大学記者クラブ 御中

関西レジャー記者クラブ 御中

2019年 6月 13日

大阪市立大学

絶滅危惧種の水草を専門家と観察

水生植物観察会

～水草の特徴を顕微鏡で観察します～

大阪市立大学理学部附属植物園は 2019年 7月 13日(土)に「水生植物観察会」を開催します。
ハスの根茎であるレンコンにはご存知の通りたくさんの穴が開いています。この穴は、ハスが水中で生きていくために獲得した特徴です。水草は水中や水辺に生育するために、陸上の植物とは異なる特徴をもっています。今回の観察会では、水草の持つ様々な特徴や水中で生育する食虫植物の捕虫の様子なども顕微鏡で観察する予定です。

ぜひ皆さまに広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただけますよう、よろしくお願ひ致します

☞ご取材のポイント

・水草の茎や根の構造を観察。食虫植物の虫を捕らえる捕虫葉も観察！

ムジナモはモウセンゴケ科の水生植物で、環境省のレッドリストでは絶滅危惧ⅠA類に分類されている絶滅の危険性が極めて高い植物です。水底に定着するための根を持たない浮遊性の水草で、水中を漂うプランクトンなどを捕まえる捕虫葉を持っている食虫植物です。捕虫葉や花（予定）を観察します。



ムジナモの花



ムジナモの捕虫葉

・本学理学研究科講師 厚井聡が解説します

本学理学研究科講師 厚井聡（こうい さとし）が、水草と陸上植物の特徴や違いを解説。参加者には実際に顕微鏡で水草の構造を観察していただきます。

・絶滅危惧種など貴重な水草を観察できます

本園では、ガガブタ、ミズキンバイなど近畿地方の絶滅危惧種を中心に数多くの貴重な水草を保有しています。本園がかねてより注力している絶滅危惧種保全の取組みについてもご紹介します。



ガガブタ



ミズキンバイ

- 1 開催日時 2019年7月13日(土)
13時00分～14時30分 (小雨実施)
- 2 会場 大阪市立大学理学部附属植物園 13時00分に植物園内の研究棟講義室に集合
アクセス：京阪電車交野線「私市(きさいち)」駅下車、徒歩約6分
URL：http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1_01_prof_files/0_01_04_a.html
- 3 参加料 無料
ただし、入園料350円は必要(中学生以下、大阪市民で満65歳以上の方
(住所・年齢の分かるものを提示)、障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの
方1名、植物園メイトカードを持参の方、は入場料無料)
- 4 その他 ①事前申し込みは不要です。当日、直接会場へお越しください。
②写真撮影は自由です。

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学理学部附属植物園 担当：中野
TEL：072-891-2059
E-mail：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

水生植物観察会

～水草の特徴を顕微鏡で観察します～

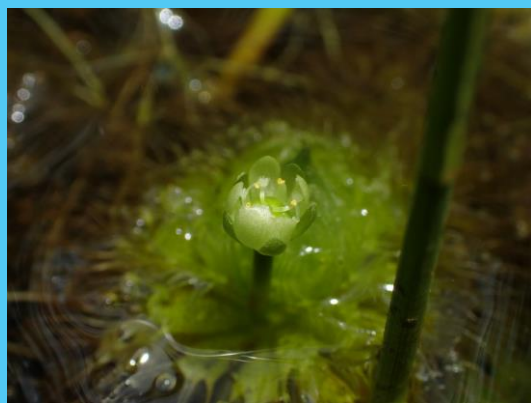
当園では、近畿地方の絶滅危惧種を中心に数多くの貴重な水生植物を保有し、パラグアイオニバスやオオオニバスなどの大きな葉をつける植物も育成しています。

この観察会では、当園が保有する水生植物のコレクションの解説や水中で生育する食虫植物の捕虫の観察、絶滅危惧種の保全の取り組みについて、ご説明します。

昨年の観察会の様子



絶滅危惧種:ガガブタ



食虫植物:ムジナモ

日時：2019年7月13日(土) 13時～14時30分 (少雨実施)

場所：大阪市立大学理学部附属植物園 (研究棟講義室に13時に集合)

講師：厚井 聡 (本学理学研究科講師)

参加料：無料 (入園料350円は必要、中学生以下は無料)

※事前申し込みは不要。当日、直接ご来園ください。

【お問い合わせ】大阪市立大学理学部附属植物園

〒576-0004 交野市私市2000

TEL 072-891-2059

メール：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp